

港湾振興便り



2012. 5
第61号

:

目 次

*:**

1 ポートエッセイ 「音楽祭を生んだ造船のまち」
～日本港湾振興団体連合会会長 篠田 昭～

2 トピック

● 「震災」と「みなとまち」を考える座談会
～復興に向けての地域連携～
(北陸地方整備局 港湾空港部 物流企画室)

● 近畿圏に安心と憩いを
～堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点 供用式典・合同防災訓練開催～
(近畿圏臨海防災センター)

● 鍋田埠頭コンテナターミナル第3バースが供用
(中部地方整備局 名古屋港湾事務所 企画調整課)

3 お知らせ

● 「清水港フラワーショー&インポートバザール2012」が開催されます。

:

1 ポートエッセイ「音楽祭を生んだ造船のまち」

～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

:~

東京・有楽町の東京国際フォーラムで7年前に始まった「ラ・フォル・ジュルネ(熱狂の日)音楽祭」が今年もゴールデンウィーク期間に開かれ、大変な人気を集めた。

「世界で最もエキサイティングなクラシックコンサート」ともいわれる文化イベントは仏・ナント市で始まり、世界に広がっている。日本でも金沢、新潟、びわこ、鳥栖と熱狂が広がっている。

この音楽祭の特徴は1回のコンサートが45分—1時間程度と短く、料金も1500円前後で、クラシックに馴染みのない若者たちに支持されていることだ。赤ちゃんや幼児も入場可能なステージもあり、ゼロ歳児からのコンサートは赤ちゃんを抱いた若いパパ・ママで溢れる。

新潟市はナント市と姉妹都市の縁があるので、2年前から音楽祭の輪に加わった。昨年は3・11大震災で開催も危ぶまれたが、今年は素晴らしいアーティストが列島を巡回、各地とも賑わったようだ。

「ナントの勅令」で知られるナント市は以前、造船業などの重厚長大産業で栄えたが、国際競争に敗れて衰退する。そのナントが息を吹き返したのはいまのエロー市長になってから。エロー市長はLRTなど公共交通整備と住宅政策を組み合わせ、文化を新たな産業として興した。

ラ・フォル・ジュルネ音楽祭や、巨大な機会仕掛けの象などが人を呼ぶ「ロワイヤル・ドゥ・リュクス」などが話題となり、クリエイティブな人材がナントに集まりだした。いまではフランスで最も住んでみたいまちに選ばれている。

まさに文化が人を呼び、文化が産業となった好例だが、フランスの文化に懸ける熱意にはいつも驚かされる。われわれも歴史的な日本文化に磨きを掛ける一方で、アニメ・マンガなど世界から注目されている「クール・ジャパン」文化を世界に発信し、地域の活力としていきたい。

::*:*:*:*:*:*:*~

2 トピック

::*:*~

●「震災」と「みなとまち」を考える座談会 ～復興に向けての地域連携～

(北陸地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室)

平成24年5月1日(火)、新潟県村上市の村上市役所会議室において、「震災」と「みなとまち」を考える座談会 ～復興に向けての地域連携～ を開催しました。

座談会には、大滝平正村上市長、小谷隆亮大洗町長、鬼頭平三(社)日本港湾協会理事、下司弘之関東地方整備局港湾空港部長、長田信北陸地方整備局港湾空港部長が出席しました。

冒頭、本座談会の開催地である村上市の大滝市長より、「東日本大震災とその後の風評被害により、東日本太平洋沿岸の観光産業等に大きな被害が生じていることは誠に残念。一刻も早い復興に向け、お役に立てることがあれば対応していきたい。」との挨拶がありました。

その後、座長である鬼頭理事長より、「東日本大震災とその後の風評被害に対して、日

本海側の『みなとまち』との連携により、東日本太平洋側の『みなとまち』復興への取組を加速できないかという観点から意見交換を御願いしたい。」との説明がありました。引き続き、大洗町の小谷町長より、東日本大震災による茨城港大洗港区の被災状況と復興に向けた観光客誘致の取組等について説明がありました。

意見交換では、出席者より、「東日本大震災は東日本太平洋側で発生したが、どこでも起きうるものであり、日本海側と太平洋側が協力して対応していくために日頃からの交流が必要。」「両市は、港の振興を図り観光により誘客する等の共通点も多く、相互に参考にすべきところが多い。」等との意見が出され、今後、両市で連携強化を進めることが確認されました。



座談会の様子



大滝村上市長(左)と小谷大洗町長(右)との握手

●近畿圏に安心と憩いを

～堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点 供用式典・合同防災訓練開催～

(近畿圏臨海防災センター)

平成24年4月21日、堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点(以下「本防災拠点」という)が、供用を開始しました。

京阪神都市圏の2府4県4政令指定都市において、大規模災害や広域的な災害が発生した際は、全国や海外から寄せられる救援物資、医薬品の中継・荷捌き場として、被災地支援活動部隊の集結・ベースキャンプ地として、災害医療支援等緊急用ヘリコプターの発着場として活用されます。

本防災拠点の主な構成は、3つ。大規模な緑地、臨港道路、耐震強化岸壁からなります。



まず緑地は、甲子園球場約7個分に相当する27.9haの広大な土地。
次に耐震強化岸壁は、5千トン級貨物船が接岸可能な水深7.5m、延長130m。
最後に臨港道路は、緑地と耐震強化岸壁を結ぶ延長約3.5km、高架部耐震構造。

緑地には支援活動のオペレーションを行う支援施設棟や、車庫棟、倉庫棟が整備。建物内には、救援物資荷捌き補助資機材、応急復旧用資機材、支援体制維持用設備を備えています。



(支援施設棟)



(車庫棟、倉庫棟)



(海水淡水化装置、自家発電機)



平成24年4月21日、供用式典と9機関
合同の防災訓練を実施しました。

供用式典では、吉田国土交通副大臣が「近畿圏の皆様には、大きな安心を与えることになると思います。政府一体となって、国民生活の安全・安心の確保に向け、引き続き全力で取り組んで参ります」の挨拶。地元選出国會議員、大阪府議員、堺市議員、地元企業関係者等総勢約230名もの方々が出席され、本拠点への関心と期待の高さを実感。

合同防災訓練は、東南海・南海地震の発生を想定し9機関（近畿地方整備局・中部地方整備局・陸上自衛隊第3師団、第5管区海上保安本部、大阪府・堺市・大阪市消防局、大阪府堺警察署・(社)日本埋立浚渫協会）参加。吉田国土交通副大臣の開始宣言後、船艇9隻、ヘリコプター5機、陸上トラック5台、人員総勢約210名が、緊急支援物資輸送訓練等を実施。副大臣の締め挨拶に「これが最後の訓練にならないように」との訓示があり、改めて継続的な他機関連携訓練の重要性を認識しました。



なお、平常時、本防災拠点の緑地は、地先にある「海のふれあい広場（ドックランなど）」とともに市民の憩いの広場として活用されます。



バーベキュー広場



芝生広場

本施設が、関西唯一の基幹的広域防災拠点として市民に浸透し、安心を与える施設となるよう、365日24時間体制で職員一同が対応に努めておりますので、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

● 鍋田埠頭コンテナターミナル第3バースが供用

(中部地方整備局 名古屋港湾事務所 企画調整課)

コンテナ取扱能力を高めるため、鍋田ふ頭において水深12mの国際海上コンテナターミナルの整備を進め、4月7日(土)に完成・供用式典を開催しました。この第三バースが供用開始されることにより、名古屋港の港湾サービス向上とともに、地域産業の国際競争力の強化が図られることが期待されます。



:

3 お知らせ

*:**

● 「清水港フラワーショー&インポートバザール2012」が開催されます。

静岡市清水区は“バラの生産量日本一”って知っていますか？そのバラを中心とした花の展示や販売、フラワー教室、輸入品の展示・販売、見学会など、様々な催し物が集まったイベントが今年も開催されます。特に最終日「花のチャリティオークション」は必見！！バラが格安で手に入ることも…

- ・ 場所：清水マリナーミナル2F
- ・ 日時：2012年5月26日(土)・27日(日)10:00~16:00
- ・ 静岡商工会議所ホームページ「イベント・まつりカレンダー」
http://www.shizuoka-cci.or.jp/assets/files/event/20120526_27flower.pdf

